

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	追加型投信／海外／株式
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	追加型投信／国内／債券
信託期間	約10年間（2012年 3 月22日～2022年 3 月18日）	
運用方針	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投資対象	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドの受益証券
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	イ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券 ロ. 円建ての債券
運用方法		①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、オーストラリアの金融商品取引所上場株式等（不動産投資信託証券を含みます。）の中から、相対的に予想配当利回りの高い銘柄に投資し、信託財産の成長をめざします。 ②マザーファンドにおけるポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 イ. 時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心に、組入候補銘柄を選別します。 ハ. 株価バリュエーションや銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。 ③マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	①マザーファンドの受益証券および円建ての債券を中心に投資することにより、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	・マザーファンド組入上限比率および株式組入上限比率は無制限 ・マザーファンド組入上限比率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産総額の10% 以下
配分方針	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド
ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・
マネー・ポートフォリオ

運用報告書 (全体版)
第12期
(決算日 2018年 3 月22日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド」および「ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ」は、このたび、第12期の決算を行ないました。
ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3817>
<3818>

オーストラリア高配当株

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200指数 (円換算)		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率	投資信託 証 券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
8 期末 (2016年 3 月22日)	11, 369	370	5. 6	11, 793	4. 0	89. 0	2. 6	5. 4	5, 509
9 期末 (2016年 9 月21日)	10, 609	140	△ 5. 5	10, 976	△ 6. 9	88. 2	2. 8	7. 4	4, 644
10期末 (2017年 3 月21日)	11, 873	1, 230	23. 5	13, 518	23. 2	92. 8	3. 6	1. 5	4, 548
11期末 (2017年 9 月21日)	12, 099	200	3. 6	13, 862	2. 5	79. 9	2. 6	15. 3	4, 495
12期末 (2018年 3 月22日)	11, 003	230	△ 7. 2	13, 144	△ 5. 2	81. 0	2. 9	13. 2	3, 768

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10, 000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

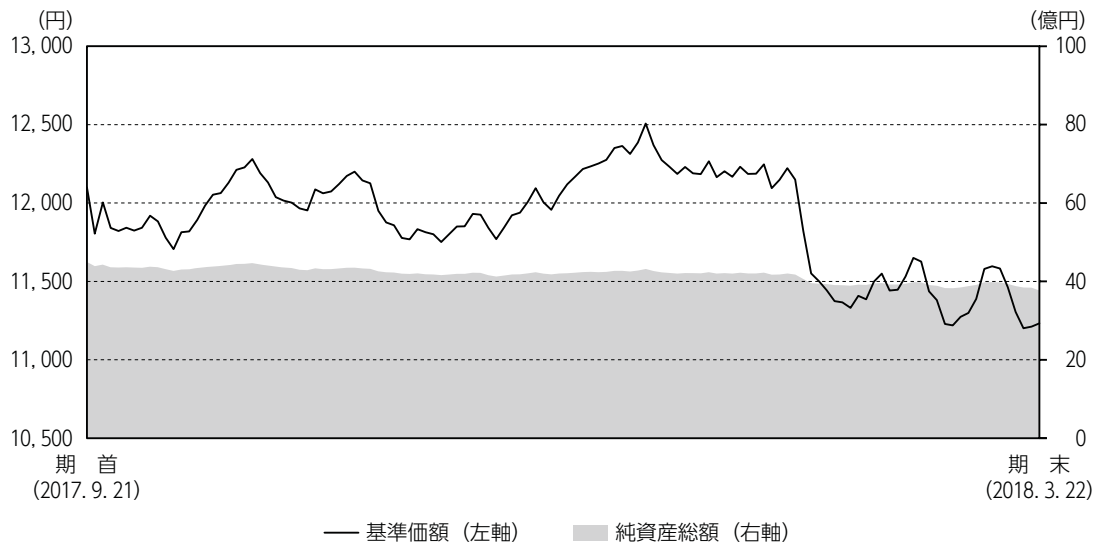
(注 4) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期首：12,099円

期末：11,003円（分配金230円）

騰落率：△7.2%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

堅調なコモディティ（商品）価格や企業業績の改善期待などを背景にオーストラリア株式市況が上昇したことはプラス要因になりましたが、世界的なリスク回避の流れから円が選好され、円高オーストラリア・ドル安が進んだことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首) 2017年 9月21日	円 12,099	% —	13,862	% —	% 79.9	% 2.6	% 15.3
9 月末	11,824	△ 2.3	13,506	△ 2.6	80.7	2.6	15.4
10月末	11,966	△ 1.1	13,856	△ 0.0	81.5	2.7	13.7
11月末	11,850	△ 2.1	13,735	△ 0.9	80.6	2.7	14.4
12月末	12,364	2.2	14,452	4.3	80.4	2.8	14.2
2018年 1 月末	12,094	△ 0.0	14,235	2.7	80.3	2.8	13.7
2 月末	11,627	△ 3.9	13,642	△ 1.6	81.2	2.8	12.6
(期 末) 2018年 3月22日	11,233	△ 7.2	13,144	△ 5.2	81.0	2.9	13.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 9. 22 ~ 2018. 3. 22)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、期首から2018年1月にかけて、企業業績への期待感や、原油や鉄鉱石などのコモディティ価格が堅調に推移したことなどを受けて、上昇基調となりました。その後は、2月前半に、好調な米国雇用統計の発表を受けて将来のインフレ加速への懸念が広がり、株式市場は大きく調整しました。2月後半から3月半ばにかけては、好調な決算を発表した大手医薬関連企業や消費関連企業などを中心に戻り基調となりました。

■為替相場

期首から2017年11月にかけて、予想よりも低い伸びだったC P I（消費者物価指数）や国会議員の二重国籍をめぐる政治の混乱などが嫌気され、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。低位にとどまるインフレや弱い賃金の伸びを背景に、R B A（オーストラリア準備銀行）の利上げ観測が後退したことも円高オーストラリア・ドル安の要因となりました。12月から2018年1月にかけては、原油や鉄鉱石などのコモディティ価格が上昇したことや、堅調な世界経済を背景に投資家のリスク選好が強まったことなどから円安オーストラリア・ドル高が進みました。2月から3月半ばにかけて、オーストラリアの長期金利が米国を下回るなど景気動向の違いに注目が集まったこと、また世界的なリスク回避の流れから円が選好されたことなどから、円高オーストラリア・ドル安が進みました。

前期における「今後の運用方針」**■当ファンド**

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

■ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

当ファンドでは、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

ポートフォリオについて

(2017. 9. 22 ~ 2018. 3. 22)

■当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

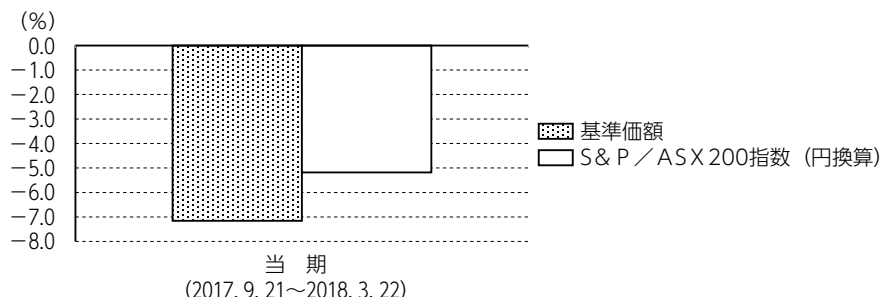
■ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

中小企業向けの貸し出しに強みを持ち、構造改革の進展が期待された大手銀行 NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD (金融)、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを中心的な事業とし、アジアにもネットワークを持つ大手銀行 AUST AND NZ BANKING GROUP (金融)、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを主な事業とし、優れた財務基盤とともに安定した業績が予想された大手銀行 WESTPAC BANKING CORP (金融)、高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち、高い収益性を誇る大手銀行 COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA (金融)、グローバルな事業ネットワークを持ち、底堅い利益成長が見込まれた大手証券会社 MACQUARIE GROUP LTD (金融) などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は230円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当期
		2017年9月22日 ～2018年3月22日
当期分配金（税込み）	(円)	230
対基準価額比率	(%)	2.05
当期の収益	(円)	175
当期の収益以外	(円)	55
翌期繰越分配対象額	(円)	3,269

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	176.75円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	830.84
(d) 分配準備積立金	2,492.08
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,499.68
(f) 分配金	230.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,269.68

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

■ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 9. 22～2018. 3. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	96円	0. 807%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11, 888円です。
(投 信 会 社)	(45)	(0. 377)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0. 404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	9	0. 072	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(8)	(0. 064)	
(先 物)	(0)	(0. 000)	
(投資信託証券)	(1)	(0. 008)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	7	0. 056	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0. 034)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0. 019)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	111	0. 935	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年9月22日から2018年3月22日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	19,572	38,100	254,568	515,100

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年9月22日から2018年3月22日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,106,582千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,426,304千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.32

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	2,168,804	1,933,808	3,730,703

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	3,730,703	95.9
コール・ローン等、その他	157,964	4.1
投資信託財産総額	3,888,667	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝82.05円です。

(注3) ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,753,695千円)の投資信託財産総額(3,778,181千円)に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,888,667,799円
コール・ローン等	150,564,082
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド (評価額)	3,730,703,717
未収入金	7,400,000
(B) 負債	120,298,802
未払収益分配金	78,773,896
未払解約金	7,601,260
未払信託報酬	33,810,552
その他未払費用	113,094
(C) 純資産総額 (A - B)	3,768,368,997
元本	3,424,952,041
次期繰越損益金	343,416,956
(D) 受益権総口数	3,424,952,041口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,003円

* 期首における元本額は3,715,524,260円、当期中における追加設定元本額は86,521,904円、同解約元本額は377,094,123円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,003円です。

■損益の状況

当期 自2017年 9月22日 至2018年 3月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 11,793円
受取利息	285
支払利息	△ 12,078
(B) 有価証券売買損益	△ 259,870,790
売買益	7,769,680
売買損	△ 267,640,470
(C) 信託報酬等	△ 33,923,646
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 293,806,229
(E) 前期繰越損益金	494,083,645
(F) 追加信託差損益金	221,913,436
(配当等相当額)	(284,560,838)
(売買損益相当額)	(△ 62,647,402)
(G) 合計 (D + E + F)	422,190,852
(H) 収益分配金	△ 78,773,896
次期繰越損益金 (G + H)	343,416,956
追加信託差損益金	221,913,436
(配当等相当額)	(284,560,838)
(売買損益相当額)	(△ 62,647,402)
分配準備積立金	835,289,730
繰越損益金	△ 713,786,210

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	60,536,090円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	284,560,838
(d) 分配準備積立金	853,527,536
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,198,624,464
(f) 分配金	78,773,896
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,119,850,568
(h) 受益権総口数	3,424,952,041口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	230円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、3月22日現在の基準価額（1万口当り11,003円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

運用報告書 第12期 (決算日 2018年3月22日)

(計算期間 2017年9月22日～2018年3月22日)

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドの第12期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	オーストラリアの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券）
運用方法	①主として、オーストラリアの金融商品取引所上場株式等（不動産投資信託証券を含みます。）の中から、相対的に予想配当利回りの高い銘柄に投資し、信託財産の成長をめざします。 ②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 イ。時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ。投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心に、組入候補銘柄を選別します。 ハ。株価バリュエーションや銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。 ③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

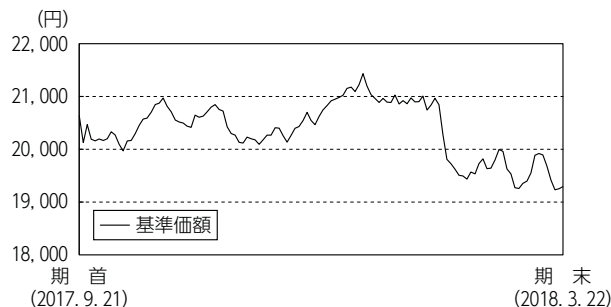
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		S&P/ASX200指数 (円換算)		株 式 組入比率	株式先物 比 率	投資信託 証 券 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率				
	円	%		%	%	%	%
(期 首) 2017年 9月21日	20,630	—	13,862	—	80.3	2.6	15.4
9 月 末	20,166	△ 2.2	13,506	△ 2.6	80.8	2.6	15.4
10 月 末	20,438	△ 0.9	13,856	△ 0.0	81.8	2.7	13.7
11 月 末	20,267	△ 1.8	13,735	△ 0.9	80.9	2.7	14.4
12 月 末	21,178	2.7	14,452	4.3	81.2	2.8	14.3
2018年 1 月 末	20,744	0.6	14,235	2.7	81.1	2.8	13.8
2 月 末	19,959	△ 3.3	13,642	△ 1.6	82.0	2.9	12.8
(期 末) 2018年 3月22日	19,292	△ 6.5	13,144	△ 5.2	81.8	2.9	13.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：20,630円 期末：19,292円 騰落率：△6.5%

【基準価額の主な変動要因】

堅調なコモディティ（商品）価格や企業業績の改善期待などを背景にオーストラリア株式市況が上昇したことはプラス要因になりましたが、世界的なリスク回避の流れから円が選好され、円高オーストラリア・ドル安が進んだことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、期首から2018年1月にかけて、企業業績への期待感や、原油や鉄鉱石などのコモディティ価格が堅調に推移したことなどを受けて、上昇基調となりました。その後は、2月前半に、好調な米国雇用統計の発表を受けて将来のインフレ加速への懸念が広がり、株式市場は大きく調整しました。2月後半から3月半ばにかけては、好調な決算を発表した大手医薬関連企業や消費関連企業などを中心に戻り基調となりました。

○為替相場

期首から2017年11月にかけて、予想よりも低い伸びだったCPI（消費者物価指数）や国会議員の二重国籍をめぐる政治の混乱などが嫌気され、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。低位にとどまるインフレや弱い賃金の伸びを背景に、RBA（オーストラリア準備銀行）の利上げ観測が後退したことも円高オーストラリア・ドル安の要因となりました。12月から2018年1月にかけては、原油や鉄鉱石などのコモディティ価格が上昇したことや、堅調な世界経済を背景に投資家のリスク選好が強まったことなどから円安オーストラリア・ドル高が進みました。2月から3月半ばにかけて、オーストラリアの長期金利が米国を下回るなど景気動向の違いに注目が集まったこと、また世界的なリスク回避の流れから円が選好されたことなどから、円高オーストラリア・ドル安が進みました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドでは、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

◆ポートフォリオについて

中小企業向けの貸し出しに強みを持ち、構造改革の進展が期待された大手銀行 NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD（金融）、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを中心的な事業とし、アジアにもネットワークを持つ大手銀行 AUSTRAL AND NZ BANKING GROUP（金融）、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを主な事業とし、優れた財務基盤とともに安定した業績が予想された大手銀行 WESTPAC BANKING CORP（金融）、高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち、高い収益性を誇る大手銀行 COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA（金融）、グローバルな事業ネットワークを持ち、底堅い利益成長が見込まれた大手証券会社 MACQUARIE GROUP LTD（金融）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物) (投資信託証券)	15円 (13) (0) (2)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	11 (7) (4)
合 計	26

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2017 年 9 月 22 日から 2018 年 3 月 22 日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株 6,951.13 (248.67)	千オーストラリア・ドル 4,689 (443)	百株 9,600.65	千オーストラリア・ドル 8,149

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2017 年 9 月 22 日から 2018 年 3 月 22 日まで)

当 期				期 付			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
DOWNER EDI LTD (オーストラリア)	85	49,912	587	WESFARMERS LTD (オーストラリア)	29	109,946	3,791
ALUMINA LTD (オーストラリア)	210	40,672	193	TABCORP HOLDINGS LTD (オーストラリア)	136.697	58,079	424
MINERAL RESOURCES LTD (オーストラリア)	25	39,783	1,591	FORTESCUE METALS GROUP LTD (オーストラリア)	130	58,060	446
OZ MINERALS LTD (オーストラリア)	50	38,180	763	AUTOMOTIVE HOLDINGS GROUP LT (オーストラリア)	140.396	45,773	326
VILLA WORLD LTD (オーストラリア)	145.613	32,368	222	AUST AND NZ BANKING GROUP (オーストラリア)	18	45,142	2,507
WESTPAC BANKING CORP (オーストラリア)	12	30,451	2,537	WESTPAC BANKING CORP (オーストラリア)	13	37,526	2,886
RIO TINTO LTD (オーストラリア)	4.5	29,550	6,566	CSL LTD (オーストラリア)	3	36,461	12,153
FORTESCUE METALS GROUP LTD (オーストラリア)	70	28,885	412	CREDIT CORP GROUP LTD (オーストラリア)	15	28,963	1,930
JB HI-FI LTD (オーストラリア)	11	27,855	2,532	WOODSIDE PETROLEUM LTD (オーストラリア)	10	26,271	2,627
BORAL LTD (オーストラリア)	40	26,682	667	PREMIER INVESTMENTS LTD (オーストラリア)	20	25,458	1,272

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2017 年 9 月 22 日から 2018 年 3 月 22 日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	オーストラリア	千口 40 (36.496)	千オーストラリア・ドル 104 (92)	千口 226.925 (—)	千オーストラリア・ドル 1,432 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 買付 () 内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 売付 () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 4) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2017 年 9 月 22 日から 2018 年 3 月 22 日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	百万円 227	百万円 228	百万円 —	百万円 —

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2017年9月22日から2018年3月22日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)	40	8,855	221	LENLEASE GROUP (オーストラリア)	30	43,374	1,445
				APA GROUP (オーストラリア)	60	39,661	661
				SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)	35	21,346	609
				AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND (オーストラリア)	101.925	17,909	175

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	円=オーストラリア・ドル	千円	
(オーストラリア)					
ALUMINA LTD	—	2,100	493	40,491	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	430.55	367.27	1,057	86,787	エネルギー
OZ MINERALS LTD	—	500	464	38,112	素材
FORTESCUE METALS GROUP LTD	1,800	1,200	571	46,866	素材
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	314.21	323.58	341	28,009	金融
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	1,232.4	1,183.63	3,498	287,077	金融
WESTPAC BANKING CORP	1,027.01	1,017.01	3,030	248,668	金融
AUST AND NZ BANKING GROUP	1,184.57	1,004.57	2,842	233,262	金融
RIO TINTO LTD	199.59	244.59	1,840	150,976	素材
AMCOR LIMITED	750	590	842	69,128	素材
NUFARM LTD	170	207.77	180	14,848	素材
AURIZON HOLDINGS LTD	1,000	1,000	434	35,609	資本財・サービス
WPP AU/NZ LTD	4,248.99	3,671.39	356	29,220	一般消費財・サービス
BWX LTD	350	—	—	—	生活必需品
AUSTRALIAN VINTAGE LTD	353.06	361.2	21	1,778	生活必需品
QMS MEDIA LTD	1,033.17	1,033.17	104	8,561	一般消費財・サービス
CREDIT CORP GROUP LTD	250	100	198	16,278	金融
GLOBAL CONSTRUCTION SERVICES	6,000	6,000	477	39,137	資本財・サービス
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	382.41	394.02	2,985	244,991	金融
QBE INSURANCE GROUP LTD	996.42	996.42	961	78,894	金融
TABCORP HOLDINGS LTD	900	—	—	—	一般消費財・サービス
TELSTRA CORP LTD	2,700	2,700	899	73,771	電気通信サービス
SPARK NEW ZEALAND LTD	1,215.67	1,215.67	402	33,015	電気通信サービス
SUPER RETAIL GROUP LTD	157.35	157.35	109	9,011	一般消費財・サービス
MACQUARIE GROUP LTD	251.64	251.64	2,662	218,466	金融
BANK OF QUEENSLAND LTD	371.48	181.48	213	17,526	金融
CSL LTD	60	30	491	40,302	ヘルスケア
WESFARMERS LTD	483.63	193.63	833	68,395	生活必需品
SUNCORP GROUP LTD	1,460	1,260	1,723	141,427	金融
BORAL LTD	1,150	1,550	1,165	95,637	素材
ASX LTD	140	140	808	66,371	金融
COMPUTERSHARE LTD	170	290	524	43,044	情報技術
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	1,600	1,000	375	30,768	一般消費財・サービス

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	オーストラリア・円	千円	
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	1,860	1,610	1,246	102,245	金融
SONIC HEALTHCARE LTD	4.07	4.15	9	798	ヘルスケア
CHALLENGER LTD	816.72	816.72	962	78,939	金融
DOWNER EDI LTD	—	850	566	46,518	資本財・サービス
JB HI-FI LTD	—	110	290	23,827	一般消費財・サービス
TATT'S GROUP LTD	583.72	—	—	—	一般消費財・サービス
AGL ENERGY LTD	110	110	237	19,468	公益事業
MACQUARIE ATLAS ROADS GROUP	1,200	1,381.26	814	66,866	資本財・サービス
IOOF HOLDINGS LTD	270	470	501	41,108	金融
MINERAL RESOURCES LTD	—	250	446	36,594	素材
PLATINUM ASSET MANAGEMENT	180	180	110	9,082	金融
PREMIER INVESTMENTS LTD	200	—	—	—	一般消費財・サービス
FLEXIGROUP LTD	813.62	813.62	145	11,916	金融
CARDINO LTD	156.45	156.45	21	1,765	資本財・サービス
AUTOMOTIVE HOLDINGS GROUP LT	1,403.96	—	—	—	一般消費財・サービス
THORN GROUP LTD	283.44	287.36	20	1,685	一般消費財・サービス
RETAIL FOOD GROUP LTD	563.79	—	—	—	一般消費財・サービス
G8 EDUCATION LTD	560.92	—	—	—	一般消費財・サービス
SIRTEX MEDICAL LTD	80	—	—	—	ヘルスケア
NANOSONICS LTD	40.37	40.37	11	907	ヘルスケア
ORORA LTD	763.9	763.9	255	20,997	素材
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE	1,400	700	165	13,554	金融
RIDLEY CORP LTD	125.71	125.71	18	1,542	生活必需品
NEARMAP LTD	800	800	81	6,662	情報技術
PACT GROUP HOLDINGS LTD	71.25	79.16	44	3,663	素材
VILLA WORLD LTD	1,498.34	2,954.47	720	59,149	不動産
ファン ド	株数、金額	46,168.41	43,767.56	37,583	3,083,734
合 計	銘柄数<比率>	54銘柄	51銘柄	<81.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < > 内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

(2)外国投資信託証券

銘 柄	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千円	千円
(オーストラリア)				
LENDLEASE GROUP	114	84	1,477	121,233
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	200,935	249,637	631	51,821
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	253,896	161,536	344	28,231
CENTURIA METROPOLITAN REIT	70	81,095	186	15,303
SYDNEY AIRPORT	270	235	1,565	128,416
APA GROUP	127,385	71,348	566	46,481
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	424,705	424,705	1,010	82,935
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	94.87	98.041	328	26,948
ファンド口数・金額	1,555,791	1,405,362	6,110	501,372
合計 銘柄数<比率>	8銘柄	8銘柄	<13.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < > 内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外国 SPI 200 INDEX (オーストラリア)	百万円 109	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	3,083,734	81.6
投資信託証券	501,372	13.3
コール・ローン等、その他	193,075	5.1
投資信託財産総額	3,778,181	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝82.05円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（3,753,695千円）の投資信託財産総額（3,778,181千円）に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	3,778,181,420円
コール・ローン等	104,508,731
株式（評価額）	3,083,734,026
投資信託証券（評価額）	501,372,282
未収入金	203,074
未取配当金	38,722,138
差入委託証拠金	49,641,169
(B)負債	7,400,266
未払解約金	7,400,000
その他未払費用	266
(C)純資産総額（A－B）	3,770,781,154
元本	1,954,539,106
次期繰越損益金	1,816,242,048
(D)受益権総口数	1,954,539,106口
1万口当り基準価額（C／D）	19,292円

*期首における元本額は2,181,015,100円、当期中における追加設定元本額は28,495,153円、同解約元本額は254,971,147円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア好配当株式オープン（毎月決算型）20,730,420円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド1,933,808,686円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は19,292円です。

■損益の状況

当期 自2017年9月22日 至2018年3月22日

項 目	当 期
(A)配当等収益	94,954,555円
受取配当金	94,726,929
受取利息	234,199
支払利息	△ 6,573
(B)有価証券売買損益	△ 367,525,697
売買益	169,000,906
売買損	△ 536,526,603
(C)先物取引等損益	5,488,161
取引益	5,808,648
取引損	△ 320,487
(D)その他費用	△ 2,232,916
(E)当期損益金（A＋B＋C＋D）	△ 269,315,897
(F)前期繰越損益金	2,318,481,951
(G)解約差損益金	△ 260,928,853
(H)追加信託差損益金	28,004,847
(I)合計（E＋F＋G＋H）	1,816,242,048
次期繰越損益金（I）	1,816,242,048

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

マネー・ポートフォリオ

最近 5 期の運用実績

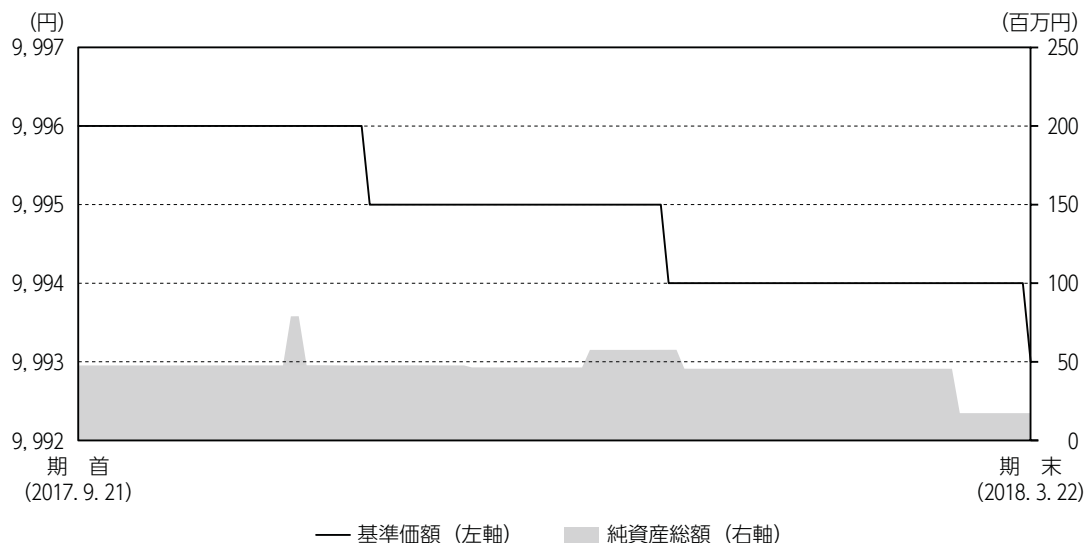
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率	純 資 産 額
	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
8 期末 (2016年 3 月22日)	10,006		0	0.0	17.5	37
9 期末 (2016年 9 月21日)	10,003		0	△ 0.0	—	56
10期末 (2017年 3 月21日)	10,000		0	△ 0.0	0.1	57
11期末 (2017年 9 月21日)	9,996		0	△ 0.0	—	47
12期末 (2018年 3 月22日)	9,993		0	△ 0.0	—	17

(注 1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 3) 当ファンドは、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンドの資金をスイッチングにより一時滞留させる受け皿としての役割を持ったファンドであり、マザーファンドおよび短期金融資産による安定運用を行ないます。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：9,996円

期末：9,993円

騰落率：△0.0%

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債やコール・ローンの利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比 債 率
		騰 落 率	
(期 首) 2017年 9月21日	円 9,996	% —	% —
9 月末	9,996	0.0	—
10月末	9,996	0.0	—
11月末	9,995	△ 0.0	—
12月末	9,995	△ 0.0	—
2018年 1 月末	9,994	△ 0.0	—
2 月末	9,994	△ 0.0	0.4
(期 末) 2018年 3月22日	9,993	△ 0.0	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 9. 22 ~ 2018. 3. 22)

国内短期金融市況

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が維持される中、国庫短期証券（3 カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前期における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 9. 22 ~ 2018. 3. 22)

当ファンド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当期
		2017年9月22日 ～2018年3月22日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	9

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

今後も低金利環境が継続した場合には、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落する可能性があります。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 9. 22～2018. 3. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—	—	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,995円です。
(投 信 会 社)	(一)	(一)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(一)	(一)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(一)	(一)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	0	0.001	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年9月22日から2018年3月22日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	29,851	29,880	51,061	51,106

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	33,336	12,126	12,134

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	12,134	70.0
コール・ローン等、その他	5,200	30.0
投資信託財産総額	17,335	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	17,335,612円
コール・ローン等	5,200,839
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド (評価額)	12,134,773
(B) 負債	218
その他未払費用	218
(C) 純資産総額 (A - B)	17,335,394
元本	17,346,674
次期繰越損益金	△ 11,280
(D) 受益権総口数	17,346,674口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,993円

* 期首における元本額は47,688,563円、当期中における追加設定元本額は42,641,509円、同解約元本額は72,983,398円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,993円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は11,280円です。

■損益の状況

当期 自2017年9月22日 至2018年3月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,633円
受取利息	2,895
支払利息	△ 4,528
(B) 有価証券売買損益	△ 2,489
売買益	4,546
売買損	△ 7,035
(C) 信託報酬等	△ 218
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 4,340
(E) 前期繰越損益金	△ 7,622
(F) 追加信託差損益金	682
(配当等相当額)	(16,393)
(売買損益相当額)	(△ 15,711)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 11,280
次期繰越損益金 (G)	△ 11,280
追加信託差損益金	682
(配当等相当額)	(16,393)
(売買損益相当額)	(△ 15,711)
分配準備積立金	146
繰越損益金	△ 12,108

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は23ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	16,393
(d) 分配準備積立金	146
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	16,539
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	16,539
(h) 受益権総口数	17,346,674口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年 3 月22日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を24ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年 9 月22日から2018年 3 月22日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	千円 90,000		千円
707 国庫短期証券 2017/12/11	70,000		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年 3 月22日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2017年12月11日）

（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
運 用 方 法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

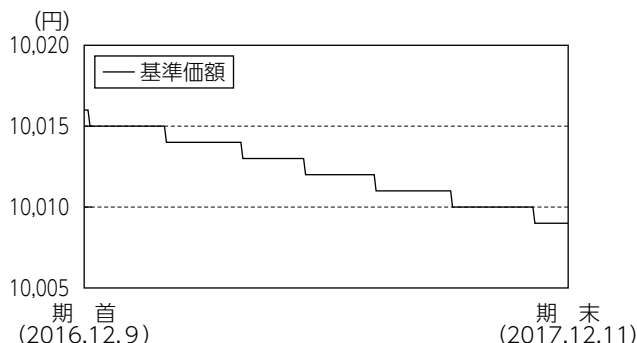
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2016年12月 9 日	円 10,016	% -	% 28.2
12月末	10,015	△0.0	-
2017年 1 月末	10,015	△0.0	31.1
2 月末	10,014	△0.0	25.3
3 月末	10,014	△0.0	-
4 月末	10,013	△0.0	35.3
5 月末	10,012	△0.0	5.1
6 月末	10,012	△0.0	0.6
7 月末	10,011	△0.0	0.1
8 月末	10,011	△0.0	-
9 月末	10,010	△0.1	-
10月末	10,010	△0.1	-
11月末	10,009	△0.1	-
(期末)2017年12月11日	10,009	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,016円 期末：10,009円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 33,310,870	千円 - (36,270,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
645 国庫短期証券 2017/2/20	千円 4,280,100		
669 国庫短期証券 2017/6/12	3,020,099		
657 国庫短期証券 2017/4/17	2,860,055		
659 国庫短期証券 2017/4/24	2,650,077		
652 国庫短期証券 2017/3/27	2,530,020		
642 国庫短期証券 2017/2/6	2,410,036		
644 国庫短期証券 2017/5/12	2,070,088		
651 国庫短期証券 2017/3/21	1,970,049		
660 国庫短期証券 2017/5/1	1,450,027		
638 国庫短期証券 2017/1/16	1,270,010		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	17,415,714	100.0
投資信託財産総額	17,415,714	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	17,415,714,754円
コール・ローン等	17,415,714,754
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	17,415,714,754
元本	17,399,953,390
次期繰越損益金	15,761,364
(D) 受益権総口数	17,399,953,390口
1万口当り基準価額(C／D)	10,009円

* 期首における元本額は10,476,400,958円、当期中における追加設定元本額は9,625,428,641円、同解約元本額は2,701,876,209円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）10,288,683円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）（年1回決算型）4,995円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド（為替ヘッジなし）（年1回決算型）4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－04（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－07（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－10（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015－01（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ32,460,107円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 3－858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 6－3,325,620,751円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 7－828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 4－3,326,673,327円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト12 Ver 2－549,443,563円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 5－2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース808,108,471円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクトコース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジなし100,789円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型）1,235円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド（為替ヘッジなし）（毎月分配型）1,598円、通貨選択型 ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド、日本円コース（毎月分配型）1,544円、通貨選択型 ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース（毎月分配型）1,984円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト11－3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト12－679,321,043円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト13－1,287,713,056円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,009円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,299,426円
受取利息	△ 922,829
支払利息	△ 7,376,597
(B) 有価証券売買損益	△ 2,491
売買損	△ 2,491
(C) その他費用	△ 174,287
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 8,476,204
(E) 前期繰越損益金	16,325,703
(F) 解約差損益金	△ 3,147,995
(G) 追加信託差損益金	11,059,860
(H) 合計(D + E + F + G)	15,761,364
次期繰越損益金(H)	15,761,364

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。